

— 第48号 —

2016.4.27

ちくせい
筑西市



議会だより



筑西市
サイクリングロード
←

目次

議決一覧表	2～3ページ
予算特別委員会	4ページ
人事紹介	4ページ
議案質疑	5ページ
一般質問	6～14ページ
常任委員会	14ページ
研修報告	15ページ
議会目誌・編集後記	16ページ

**新中核病院整備事業など
平成28年度予算を議決！**

**総額804億6,327万余円
（一般会計422億5,000万円）**

平成28年第1回定例会議決一覧表（平成28年2月24日開会）

事件の番号	件名	内容	結果
報第1号	処分事件報告について（和解に関する こと及び損害賠償の額を定めること について）	菅谷地内での公用車の接触事故により、損害賠償 金として56万余円を支払うことで和解したもの	報 告 —
報第2号	処分事件報告について（筑西市税条例等 の一部を改正する条例の一部を改正する 条例）	マイナンバー法の施行に伴い、所要の改正をする もの	承 認 ○ 23 × 0
議第1号	市道路線の廃止について	用途廃止、寄附採納により5路線を廃止するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第2号	市道路線の認定について	再認定、寄附行為により5路線を認定するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第3号	平成27年度筑西市一般会計補正予算（第9 号）	歳入では法人市民税収入の増額、歳出では基金 積立金の増額や地方創生加速化交付金を受けて 実施する移住定住促進事業の創設等により、歳入 歳出それぞれ16億3,723万余円を追加するもの	原案可決 ○ 20 × 2
議第4号	平成27年度筑西市国民健康保険特別会計 補正予算（第3号）	保険給付費の増額、国民健康保険団体連合会へ の共同事業拠出金の減額等をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第5号	平成27年度筑西市後期高齢者医療特別会 計補正予算（第3号）	給料改定等に伴う職員人件費の増額をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第6号	平成27年度筑西市公共下水道事業特別会 計補正予算（第4号）	流域下水道建設事業負担金の減額等をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第7号	平成27年度筑西市農業集落排水事業特別 会計補正予算（第3号）	河間北部地区排水処理施設建設事業に対する県補 助の見送りに伴う翌年度予算への事業再計上等を するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第8号	平成27年度筑西市下館結城都市計画事業 八丁台土地区画整理事業特別会計補正予 算（第1号）	従事職員の変更等に伴う職員人件費の減額をする もの	原案可決 ○ 22 × 0
議第9号	平成27年度筑西市介護保険特別会計補正 予算（第4号）	人事異動等に伴う職員人件費の減額をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第10号	平成27年度筑西市介護サービス事業特別 会計補正予算（第3号）	給料改定等に伴う職員人件費の増額をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第11号	平成27年度筑西市水道事業会計補正予算 （第2号）	人事異動等に伴う職員人件費の減額等をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第12号	平成27年度筑西市病院事業会計補正予算 （第4号）	新中核病院整備に係る継続費、起債限度額の減 額等をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第13号	筑西市固定資産評価審査委員会条例の一 部改正について	行政不服審査法等の改正に伴い、委員会におけ る審査の申出等について所要の改正をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第14号	筑西市行政不服審査会条例の制定につい て	行政不服審査法の改正に伴い、審査請求があつ た際に諮問する第三者機関について必要な事項 を定めるもの	原案可決 ○ 20 × 2
議第15号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の 整備に関する条例の制定について	行政不服審査法の改正に伴い、関係する5本の条 例について所要の改正をするもの	原案可決 ○ 20 × 2
議第16号	筑西市職員の降給に関する条例の制定につ いて	地方公務員法の規定に基づき、職員の意に反す る降給について必要な事項を定めるもの	原案可決 ○ 20 × 2
議第17号	筑西市特別職の職にある者で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部 改正について	消防署川島出張所新庁舎建設用地選定委員会委 員等の報酬を追加するため、条例を改正するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議第18号	筑西市職員の給与に関する条例等の一部 改正について	平成27年人事院勧告に基づき、関係する3本の条 例について所要の改正をするほか、人事評価制 度の本格導入に係る等級別基準職務表の追加等 をするため条例を改正するもの	原案可決 ○ 22 × 0

平成28年第1回定例会議決一覧表（平成28年2月24日開会）

事件の番号	件名	内 容	結 果
議案第19号	筑西市手数料条例の一部改正について	マイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付に係る手数料の徴収等をするため条例を改正するもの	原案可決 ○ 20 × 2
議案第20号	筑西市印鑑条例の一部改正等について	マイナンバーカードを利用した印鑑登録証明書のコンビニ交付等に係る改正をするほか、多機能磁気カードの発行等に関する条例を廃止するもの	原案可決 ○ 20 × 2
議案第21号	筑西市指定地域密着型サービスに関する基準等を定める条例の全部改正について	国基準の改正に伴い、地域密着型通所介護に係る必要な事項を定めるほか、国基準と条項を合わせるため条例の全部を改正するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第22号	筑西市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準等を定める条例の一部改正について	国基準の改正に伴い、指定介護予防認知症対応型通所介護に係る推進協議会の設置について定めるほか、所要の改正をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第23号	筑西市消費生活センター条例の制定について	消費者安全法の改正に伴い、消費生活センターの組織等について定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第24号	筑西市営住宅条例の一部改正について	福島復興再生特別措置法の改正に伴い、所要の改正をするもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第25号	平成28年度筑西市一般会計予算	平成28年度当初予算として422億5,000万円を定めるもの	原案可決 ○ 20 × 2
議案第26号	平成28年度筑西市国民健康保険特別会計予算	平成28年度当初予算として148億6,596万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第27号	平成28年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算	平成28年度当初予算として19億3,234万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第28号	平成28年度筑西市公共下水道事業特別会計予算	平成28年度当初予算として23億9,092万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第29号	平成28年度筑西市農業集落排水事業特別会計予算	平成28年度当初予算として13億155万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第30号	平成28年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計予算	平成28年度当初予算として2億1,369万円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第31号	平成28年度筑西市駐車場事業特別会計予算	平成28年度当初予算として3,007万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第32号	平成28年度筑西市介護保険特別会計予算	平成28年度当初予算として88億799万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第33号	平成28年度筑西市介護サービス事業特別会計予算	平成28年度当初予算として4,024万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第34号	平成28年度筑西市水道事業会計予算	平成28年度当初予算として32億4,305万余円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第35号	平成28年度筑西市病院事業会計予算	平成28年度当初予算として53億8,742万円を定めるもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第36号	平成27年度筑西市一般会計補正予算(第10号)	医師修学資金貸与の債務負担行為を定めるほか、TPP対策として担い手確保・経営強化支援事業補助金の計上等により歳入歳出それぞれ7,366万余円を追加するもの	原案可決 ○ 22 × 0
議案第37号	副市長の選任につき同意を求めることについて	副市長の選任について、議会の同意を求めるもの	同 意 ○ 22 × 0

※「結果」欄の○・×の数は、可・否の議員数です。（議長は含みません）

予算特別委員会

委員会

予算特別委員会は、3月11日、14日の2日間開かれ、平成28年度の一般会計、特別会計及び企業会計予算を審査し、いずれも可決すべきものと決しました。

また、16日の本会議においても原案のとおり可決されました。

委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

(審査順)

企画部

合併算定替・臨時財政対策債・繰越金の現状について
新中核病院の診療科目と医師・看護師の確保策について

市民病院

訪問看護と人間ドックの現状について

企業誘致推進局

新たな企業誘致について

市長公室

筑西市魅力発信事業の概要について

総務部

スピカビルの改修状況と公有財産の有効活用について

税務部

茨城租税債権管理機構の概要と委託状況について

市民環境部

関東・東北豪雨被災者生活支援金の概要とマイナンバーカードによる各種証明のコンビニ交付について

保健福祉部

放課後児童クラブ整備事業の概要、がん検診への取り組み状況、ひとり暮らし高齢者等配食サービスの概要について

経済部

プレミアム商品券発行事業と新規就農支援・農地集積支援事業について

土木部

橋梁維持補修事業と市街地活性化支援事業の概要について
八丁台土地区画整理事業の事

人事紹介

副市長の選任に同意

筑西市副市長として、地方自治法の規定により次の方の選任に同意しました。



石井 正
外塚837番地
(67歳)

上下水道部

料金滞納者対策と下水道事業の企業会計への移行について

教育委員会

学校図書館司書等の配置計画と学校給食における地産地消の取り組みについて

【予算特別委員会委員】

◎榎戸甲子夫 ○田中 隆徳

小倉ひと美 三澤 隆一

藤澤 和成 稲川 新二

大嶋 茂 増渕 慎治

尾木 恵子 藤川 寧子

秋山 恵一 三浦 譲

(◎委員長 ○副委員長)

議案質疑

開会日に提出された議案に対する質疑は、3月4日に行われ、3人の議員が13項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第3号

問 移住定住促進事業の効果は

【森正雄議員】

移住定住促進事業の需用費318万円の内訳は何か。

【企画部長】

移住希望者がお試し居住を行うための空き家2戸分の修繕費300万円と光熱水費18万円である。

【森正雄議員】

筑西版CCRC導入検討基礎調査委託料500万円とは。

【企画部長】

CCRCとは、東京圏などで生活する健康で活動的な高齢者を地方に移住させ、住民との交流や社会参画等により地

方の活性化を目指す国の施策。その導入可能性を調査するための委託料。調査対象は移住希望者や市内事業者等となる。

【森正雄議員】

これにより地方の人口減少と活性化の対策になる反面、将来の医療費や介護保険料の負担増が懸念されるが。

【企画部長】

CCRCを導入する場合のメリット、デメリットを精査するための調査を行い、結果については今後慎重に検討してまいりたい。

【森正雄議員】

このCCRC計画と空き家バンクを連動させてはどうか。

【企画部長】

今後、検討してまいりたい。

議案第25号

問 川島小放課後児童クラブの定員は

【鈴木聡議員】

共働き世帯にとって、子どもの居場所は大きな問題である。今般、保護者の要望を受け、川島小学校の給食室を改修し放課後児童クラブを整備する事業費約2,900万円が計上されているが、定員はどう改善されるのか。

【保健福祉部長】

これまで図工室等を開放し51名の児童を受け入れていた。この改修により最大70名程度の受け入れが可能となる。

議案第3号

問 基金は生きた使い方を検討すべき

【三浦譲議員】

財政調整基金は家庭の貯蓄に相当するものだが、昨年度末に比べて10億円増え約62億円となり、年々増加傾向にある。

適正基準はあるのか。また、標準財政規模の10%という考え方はどうなのか。

【企画部長】

財政調整基金の適正基準は国の通達等にはない。県内の基金残高比率で比較すると下から10番目と低い状況にある。将来への備えとして、できる限り積み立てたい。

【三浦譲議員】

現在の予算編成は、「選択と集中」という方針により事業が限定的となり、市民サービスの低下が危惧される。基金を積み立てるばかりでなく、ここぞというときは基金を取り崩し、生きたお金の使い方を検討すべきではないか。

【市長】

ご指摘のとおりと考える。無駄な支出はできないが、市民のためになるところには使ってまいりたい。



一般質問

市政全般に関する一般質問は2月26日、29日、3月1日、2日の計4日間にわたって行われ、16人の議員が124項目に及ぶ質問をしました。
その主なものは次のとおりです。

『一般質問』

一般質問は、提案された議案に対して説明や所見を求める「議案質疑」とは違い、市長等の執行機関が行う行政全般に対し、事務の執行状況や将来における政策方針などについて疑問をただしたり、報告や説明を求めたりするものです。

また、一般質問は定例会でのみ認められるもので、臨時会では行われません。



問 ボランティア推進課の新設を
答 現在、市民協働課が役割を担っている



【議員】

自然災害や地域のさまざまな諸問題の対応には、地域の協力や一人一人の取り組みが欠かせないと考えるがいかがか。

【市長】

自然災害に限らず、これからへの対応は地域住民の助け合いが非常に重要になってくる。市民と行政が一つになって人と人が支え合う、市民が主役の安心安全なまちづくりを考えていきたい。

【議員】

そこで、お互いが助け合い安心できる社会を目指すために、総合的に管理、サポート、情報提供のできる部署として、「ボランティア推進課」を新設してはどうか。

【市長公室長】

新たな部署の新設はなくても、現在は市民協働課がその役割を担っている。今後市民協働の理念に基づき、市民団体の活性化や市民団体相互の交流を推進していくことが

重要である。なお一層、取り組みを強化してまいりたい。

【議員】

目指す方向が一緒ならば、市民団体等を一括管理しマッチングするような考えはあるか。

【市長公室長】

同じ志を持っている市民団体同士をマッチング、コラボレーションさせることにより、より効率的で効果的な活動が期待できると考えているので、よく調査研究してまいりたい。

【議員】

市民が市政に直接かわる形が必要と考える。ぜひ、ボランティア推進課を設置し、「市民プラス行政」として役割を担っていただきたい。



他の質問

▼健康ポイント制度について
ほか

問 新中核病院に病児保育と口腔
外科の設置を
関係部署と協議を重ね検討し
ていきたい



小倉 議員

【議員】

育児をしながら働く女性の悩みの72%は、子供の突然の風邪や発熱という。何日も仕事を休める職場は少なく、働きながら子育てする人にとって、病児保育を行ってくださるところがあれば心強い。病児保育は病院との連携、小児科との連携が大切であることから、ぜひ、新中核病院に病児保育の機能を導入できないか。

【企画部長】

新中核病院基本計画の中で、病児・病後児保育への対応についても検討を行うこととしており、市の関係部署とも十分に協議を重ねながら検討していきたい。

【議員】

口腔環境を整えることは、健康寿命を延ばすことと医療費の抑制につながる。新中核病院に高齢者、障害者等特定の対象者への歯科、口腔外科の導入も必要なのではないか。

【企画部長】

新中核病院における診療体制については、基本計画において県西総合病院、筑西市民病院の現行の診療科を起点として医療需要など十分な検討を踏まえ、新たな設定を行う予定である。診療科目については地域の医療関係者と協議を重ねているところであるので、ご理解いただきたい。



他の質問

- ▼スピカビル庁舎移転について
- ▼乳幼児虐待・高齢者虐待について
- ▼子育て支援について
- ▼小中連携、小中一貫教育について

問 校内暴力に対して絶対許さないメッセージが必要では
毅然とした態度と関係機関との
協力で未然防止に努める



森 議員

【議員】

青少年非行が減少傾向にある中、校内暴力、生徒間暴力、校内備品破損、破壊が増えていく。本市校内暴力等の状況について伺いたい。

【教育長】

本年4月から11月までの調査の結果、校内暴力等の件数は小学校はゼロ、中学校は7件である。

【議員】

文部科学省の調査では、感情のコントロールがきかない子供達が増加傾向にある。要因の一つとして、家庭での教育放棄、虐待の可能性があるとみている。本市小中学校で暴力行為を起こす児童生徒への指導等はどのようなものか。

【教育長】

問題が発生した場合は、各校の生徒指導体制をもとに、毅然とした態度で迅速に対応している。なお、地域の皆様の協力や支援をいただいております。本市は比較的落ちついた学校

生活が送れている。

【議員】

校内での反社会的行動、教師に対しての暴力、学校の器物破損に対して、教育委員会は絶対に許さないという強いメッセージが必要であると思うがいかがか。

【教育部長】

暴力により他人を傷つけたり、学校施設破壊等があった場合には、躊躇しない厳正な処置をする。一方、PTA、民生児童委員、警察署、児童相談所等関係機関と協力して問題行動を未然に防止したい。



他の質問

- ▼18歳選挙権について
- ▼シチズンシップ教育について
- ▼いじめ問題について
- ▼道徳教育について

問 通称町名等の復活を求める請願はどう検討したのか
答 歴史ある名称を残す方策を検討していく



鈴木議員

問 旧町名の復活検討会議の進め方は
答 行政と住民が一体となり取り組んで行く



藤澤議員

【議員】

平成25年第1回定例市議会に、下館地区の住所表示「甲、乙、丙」はわかりにくいいため通称町名となる「稲荷町、大町」等を入れられないか。また、歴史ある旧下館町の名残として、通称町名の前に「下館」も入れられないかという九千人超の署名のある請願が提出され、議会は全会一致で採択した。その後の進展がなかった中、地元自治会等と話し合いを持ったと聞くがどのような内容だったのか。

【総務部長】

市は、請願の採択を受け3回ほど会議を開催し検討を重ねてきた。地元自治会や下館商工会議所の方々と意見交換を行った際に、請願の趣旨に従い、入り組んでいる通称町界を水路や道路で区切り土地の登記を変更する方法について提案したが、①膨大な時間と多額の経費を伴うやり方を望まないこと②歴史があり愛着

のある名称を何とか残して欲しいという趣旨であった。市としても歴史ある名称を残すという観点から、便宜上でも使っていきたいと考える。今後は、具体的に何ができて何ができないのか、整理・相談しながら進めてまいりたい。

【議員】

方針等は、いつ決まるのか。

【総務部長】

出来るだけ早くお示ししたい。



他の質問

▼T P P問題について
▼新中核病院について
▼不登校と小中一貫教育について

【議員】

市長から「中断していた旧町名復活・通称町名使用の検討委員会を再開する」との議会答弁を受け、関係者の反響は大きく、市長にも多くの意見が寄せられたと思う。そこで、検討会議の内容と今後の進め方について伺いたい。

【総務部長】

以前、旧下館地区の通称町名等の復活使用を求める請願を受けた。当時は土地登記の変更等を要する膨大な事業になると判断し、その方策に苦慮していた。しかし、地元自治会等と意見交換を行ったところ、私の所は「〇〇町」ですと愛着のある通称町名を残せないかという内容だった。歴史と愛着のある町名を使うことで、町の魅力アップにつながり、利便性が高まるという観点から、便宜上でも使っていきたい。今後、行政として何が出来るかを検討し提示してまいりたい。

【議員】

壮大な問題であり、スピード感を持って取り組めないか。

【総務部長】

具体的な日程はまだ示せないが、行政と住民が一体となり取り組めるものを提案したい。

【市長】

市民からの不満は聞いている。これまでは要望を受ける都度断片的な回答をしてきただけだったが、今後は定期的に課題等の検討を進めていきたい。どういう方向に向かうかは別としても早期に解決してまいりたい。



他の質問

▼未来の学校づくりについて
▼安全安心なまちづくりについて

問 市長は公約をどの程度実現できたと考えるか

答 6つの公約いずれも成果があらわれていると実感している



大嶋 議員

【議員】市長就任からの3年間を振り返り、目標としていた施策をどの程度実現できたと思うか。

【市長】『新中核病院』については本年12月には工事に着手し、平成30年10月の開院を目指す。『企業誘致』については5社の誘致に成功、新たな工業団地も整備する。『スピカビル』については現在改修中であり、来年2月には本移転が完了予定である。『行政改革』については5年間で18億円の削減効果があり、今後は公共施設の適正配置の推進や使用料の適正化に取り組みたい。『地元産の食材の普及と地場産業の振興』については浅草の「まるごとにつぼん」にアンテナショップを出展、今後は筑西ブランド推進協議会を設立し、ブランド戦略や6次産業化を進めたい。『小中一貫の推進』については「学校の在り方検討委員会」

の答申を踏まえ、モデル校での小中一貫教育をスタートさせる。いずれの公約についても成果があらわれているものと実感しているが、新たな課題が山積しており、歩みをとめることなく着実に進めてまいりたい。

【議員】今後筑西市をどのようなまち、地域にしていきたいか。

【市長】誰もがこの筑西市に住んでよかった、生まれてよかったと幸せを実感できる市にしたい。



他の質問

▼総務企画行政について

▼保健福祉行政について

▼教育行政について

ほか

問 新中核病院の経営方針は

答 地方独立行政法人で安定した運営を行いたい



石島 議員

【議員】これまでの経過と、今後の予定は。

【企画部長】

基本計画に基づき1月末に業者を選定し、基本設計に取り組んでいる。今後は3月末に実施設計に着手し用地取得、農地転用や開発行為の諸手続きを進め、12月に工事着手、平成30年10月の開院に向け作業を進めている。

【議員】

医師及び看護師の必要数は。

【企画部長】

病床数250床程度を考えると、医師数は30人、40人、看護師は150人前後必要と考える。

【議員】

救急等への対応は。

【企画部長】

新中核病院では、二次救急医療までの完結を目指している。夜間休日一次救急診療所、筑西市・結城市・桜川市の五病院で運営されている病院群

輪番体制の二次救急、筑波大学・自治医科大学等の三次高度医療機関と連携を密にして救急体制の構築を図りたい。

【議員】

【企画部長】

地方独立行政法人で運営していきたい。地方公務員法、地方自治法、条例等公務員に適用される諸規定の制約を受けずに、医療環境の変化に伴う医療スタッフの配置や診療報酬の改定など、多彩な勤務形態や給与形態の設定をすることができ、安定した病院経営が行えると思う。



他の質問

▼公共施設について

ほか

問 新中核病院の医師も住民も安心できる取り組みをさまざまな機会で説明、周知し理解を得ていきたい



三浦議員

【議員】

新中核病院の診療科目は、公募までに決めなくてはならない診療科、施工までに決める診療科があるが、どのようなになっているのか。

【企画部長】

公募に必要なレベルまでの協議をして、具体的かつ詳細な診療科については、施工までに決めることとしている。

【議員】

今後、他の病院との機能分担の調整は。

【企画部長】

近隣大学病院や地域の医療機関の機能、特徴、現況等を十分に精査して実現性のある医療提供体制を構築するため継続して協議、検討を行う。

【議員】

新中核病院について市民の理解を得られるような取り組みが必要である。どのようなPRをしていくのか。

【企画部長】

開院前、開院後を問わずシン

ポジウムやセミナー、広報紙等を通して幅広く情報の発信、周知を行っていきたい。

【議員】

住民と病院の連携、相互理解があると医師は安心し、頑張る意欲も出てくる。開院前からの情報交換が大切だが。

【企画部長】

今後は地域医療連携、役割分担、かかりつけ医の重要性等をさまざまな機会でも市民に説明、周知し、新中核病院の役割や位置づけの理解を得ていきたい。



他の質問

▼医療とまちづくりについて
▼那珂市との原子力災害時広域避難協定について ほか

問 土日に校舎内に設置されているAEDを使用するには躊躇なく窓ガラスを割ってAEDを取り出し処置願いたい



稲川議員

【議員】

本市はスポーツ少年団の活動が盛んである。そのような中、野球の指導者がグラウンドで倒れ、亡くなった。スポーツ少年団は、放課後や土日を中心に活動する中、AEDは施錠された校舎内に設置されていて、使用できないと思う

【教育部長】

AEDを使用する状況が発生した場合、躊躇なく施錠された扉の鍵をこじあけたり、窓ガラスを割って入り、AEDを取り出し処置をするよう学校から利用者に説明している。

【議員】

窓ガラスを割って入るなどは、普通躊躇する。体育館等に設置できないか。

【教育部長】

いたずらの危惧もあることから教職員の目の届く所をAEDの設置場所と考えている。

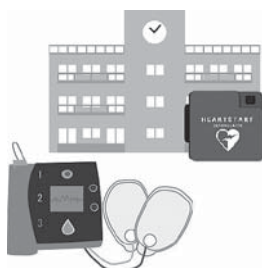
【議員】

小学校には、小さいAED設

置ステッカーが貼ってある。ステッカーを解りやすくすればある程度躊躇しないで、窓ガラスを割って入ることが可能ではないか。体育館に設置できないのであれば、何か良い考えがあるのか伺いたい。

【市長】

AED設置ステッカーをもう少しわかりやすくする。AEDの設置場所を、どの学校にも同じ場所にして誰もが設置場所を知っているような工夫を検討したい。



AED：自動体外式除細動器（心停止状態の心臓に対し電気ショックを行い、正常なリズムに戻す機器）

他の質問

▼児童生徒の安全（組体操）について
▼市内中学校における部活動の状況について ほか

問 今後、財政調整基金の取り崩しを行うのか
答 収支不足が生じた場合には財政調整基金の活用を図りたい



田中議員

問 行政改革として第3セクターは妥当か、PFIの導入は課題は多いが導入の可能性について検討したい
答 行政改革の観点から民間活用は重要なポイントであり、ノウハウと実績のある民間事業者の選択が必要である。第3セクターに対する委託は行政改革の趣旨に反しないか。



小島議員

【議員】

平成26年度末の財政調整基金の現在高について伺いたい。

【企画部長】

平成26年度末は52億6千901万6千円である。平成27年度末は62億6千901万6千円を見込んでいます。

【議員】

本市の平成28年度予算は過去最高額の大規模予算である。今後の予算を組むにあたり、財政調整基金の取り崩しを行うのか伺いたい。

【企画部長】

平成28年度は税収の大幅な伸びが見込めないことや、普通交付税についても合併算定替の段階的縮減が続く、予算編成が非常に厳しいと見込まれたため、財政調整基金から20億円の繰り入れを予算化している。今後、事務事業の見直しや内部努力によってもなお収支不足が生じる場合には、基金の活用も図ってまいりたい。

【議員】

一般の市民の方は、予算は一つの予算だと思っているが、一般会計予算と特別会計予算の二つがある。本市は特別会計予算、つまり、独立採算で運営すべき会計に繰り出しが多い感じがするがいかがか。

【企画部長】

特別会計への繰り出しについては、今後もしっかりと精査をして、できるだけ繰り出しを少なくするように検討したい。



他の質問

▼道の駅について
▼子育て支援センター（下館会場）運営委託について
▼小中一貫教育と統廃合について

【総務部長】

道の駅に対するPFIの導入は、内部検討はしたが道の駅整備推進協議会における検討はなされていない。PFIは市の財政負担の軽減を図ることが可能となる有効な手段と認識している。一方で導入可能性調査や大臣認定等に時間と手間がかかること、市と民間のリスク分担等課題も多いこれらの課題を考慮しながら今後の導入の可能性について検討してまいりたい。



PFI (Private Finance Initiative) : 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、技術、経営能力を活用して行う

他の質問

▼入札における地元優先と公共性・合理性について
▼3大事業（スピカビル新庁舎・新中核病院・道の駅）と財政規律について

問 新たな水田農業の担い手への対応は基本的な国の制度を活用し、農機具等の整備支援を実施



金澤議員

【議員】

水田農業は少ない面積でやっていくと採算割れとなり、続けていくことができない。対策として担い手に農地を集積していくほかにないと思うが、担い手の育成についての市の考えは。

【経済部長】

今、米価の著しい上昇が見込めないことから、生産経費の低減を図ることが重要と考える。担い手等への土地の流動化を推進するため、農地中間管理事業を活用した規模拡大等に努めてまいりたい。

【議員】

これから担い手となる若い方が水田農業を始める場合には、かなりの資本投下が必要となる。新しい担い手が資材、農機具等を購入する際の助成をどのように考えているか。

【経済部長】

市としては基本的に国の制度を活用し、経営体育成支援事業として農機具、施設等の整備

備支援を実施している。ただし、人・農地プランに位置づけられた認定農業者であることが求められており、経営規模の小さい方は制度を活用しにくい、厳しい状況である。国は農地の集約化や、農業従事者の高齢化等に対応した制度に移行しており、市としてもそれらの対策を推進しているところである。



他の質問

- ▼飼料用米の今後の取り組みについて
- ▼農産物ブランド化推進事業について
- ▼防災無線について
- ▼支所機能の充実について

問 災害時に防災無線からサイレンを鳴らせないか
答 今後はサイレンを鳴らした後避難の呼びかけをしたい



尾木議員

【議員】

防災無線が聞きづらいことについては、市はいろいろな対策をしているが、なかなか良い施策がない。ケーブルテレビで災害情報とか避難勧告をしたらどうか。

【市民環境部長】

平成25年6月にケーブルテレビと防災及び防犯にかかわる協定を締結し、昨年9月の水害時に防災情報を発信した。

【議員】

本来に大変な状況には、防災無線を放送するときにサイレンを鳴らせないか。

【市民環境部長】

9月の水害時には鬼怒川の水位がこれまでにないスピードで上昇し、サイレンを鳴らす方法にまで考えが及ばなかった。今後はサイレンを鳴らした後に避難の呼びかけを行いたい。

【議員】

災害時、避難所近くに住んでいる職員にいち早く避難所の

状況を把握させ、本部へ連絡する体制を導入できないか。

【市長】

現在同様の対応をしているが、更なる検討をしていきたい。

【議員】

自主防災組織結成時の補助金20万円を増額できないか。

【市民環境部長】

増額も必要と考えているが、まずは、組織率を上げることが優先的に取り組みたい。



他の質問

- ▼鬼怒川の整備計画について
- ▼マイナンバーについて
- ▼生活困窮者自立支援制度について
- ▼小中学生の携帯電話及びスマートフォンについて

問 新中核病院に託児所開設と病
児保育の実施を
院内保育所を計画、病児・病
後児保育は検討



藤川議員

【議員】

新中核病院整備の基本計画には「ライフステージに応じたさまざまな働き方ができるように環境整備を行う。乳幼児のいるスタッフのため、24時間対応で乳幼児を預かることを検討する」とある。また、基本設計でも「患者にやさしい、働く人にやさしい」と提案されている。今後250床の病院を運営するには、医者が30人から40人、看護師が150人程度、他に事務職等が必要となる。スタッフ募集に際しては、託児所を併設することを決め募集してはどうか。

【企画部長】

基本計画の中にも明記してあるとおり、院内保育所の整備を計画している。

【議員】

その点をPRして人材確保に努めていただきたい。次に、病後児保育は、市内で、2つの保育所と1つの認定こども園で実施している。しかし、

病児保育を実施している施設は市内にはなく、近くでは県西総合病院で行っている。新中核病院でも病児保育の実施を早期決定し、医療スタッフ募集に間に合せてはどうか。

【企画部長】

新中核病院整備基本計画の中に、病児・病後児保育への対応についても検討を行うとして、市との関係部署とも協議を重ねながら検討していきたい。



他の質問

▼こどもワンストップ窓口について
▼しもだて美術館について
ほか

問 新治駐在所前の通学路に横断
歩道を
今年度内に茨城県警本部が設
置する



外山議員

【議員】

要望のある通学路は現在何カ所あるか。

【教育部長】

平成28年1月末現在、小学校43カ所、中学校19カ所の要望があり、順次対策を進めている。うち小学校33カ所、中学校14カ所については既に対策が済んでいる。

【議員】

協和地区の新治駐在所前道路は、児童たちが通学路として使っている。去年横断歩道についての陳情をしたが、警察がなかなか動いてくれないとのことだった。横断歩道をつくってもらえるよう、何とか警察と交渉していただきたい。

【市民環境部長】

信号機、道路標識の設置や横断歩道等の表示については警察署の管轄であり、当初要望のあった位置については設置基準を満たす歩行者の「人だまり」がないことから設置できない旨、筑西警察署から回

答があつたものである。その後、要望のあつた位置を少しずらし、「人だまり」を設置するため市有地のフェンスの撤去等を行い、再度、筑西警察署と検討・協議を重ねてきたところ、昨年12月25日、県警本部から今年度内に設置するとの連絡をいただいた。



新治駐在所前

他の質問

▼無形文化財の指定について
▼ちくせいマラソン大会について
▼道の駅の建設について
▼母子島遊水地の整備事業について
▼上水道の石綿セメント管の切りかえ更新について
ほか

問 筑西市が目指す道の駅の独自性は何か

答 農産物を活用した滞在型の施設づくりを目指す



榎戸議員

【議員】市が計画している「道の駅」の概念について聞きたい。

【市長】道の駅は全国に1,079カ所もあり、地域間競争に勝ち抜ける特色ある施設、収穫体験ができる農園など滞在型の施設づくりを目指す。

【議員】建設予定地はどこか。

【市長】当初、国に「国道50号で」とお願いした経緯もあり、50号バイパス沿線への整備を考えている。

【議員】道の駅は交通量も大切だが、わざわざ立ち寄ってもらえる集客能力のある施設の検討も必要ではないか。

【企画部長】

筑西市独自の魅力ある施設づくりが重要な課題となる。ソフト面では農産物を生かした新商品の開発や農産物のブランド化、ハード面では市民が

集いたくなるような広場や体験型施設を検討している。

【議員】次に、市内には4本の一級河川が流れ、季節にはサケの遡上も見られる。また、国は地方創生に取り組んでいることから、これら予算で淡水魚水族館を整備し、集客を目指すてはどうか。

【市長】サケの遡上をモニターで放映することは可能と考えるが、本格的な水族館は整備・維持管理に多額の費用を要するため難しい。



他の質問

▼新中核病院について
▼ふるさと納税について
▼観光行政の重点施策について
ほか

常任委員会

各常任委員会における主な質疑や出された意見は次の通りです。

○総務企画委員会 3月7日(月)

【議案第3号のうち所管部分】

- ・新中核病院整備事業について、病院長及び理事長、診療科目はいつ決まるのか。
- ・通知カードが届かなかったもののへの対応、個人番号カードの発行状況及び発行期限は。

【議案第16号】

- ・職員の降給はだれが公正に判断するのか。

【議案第17号のうち所管部分】

- ・筑西消防署川島出張所新庁舎建設用地選定委員会の構成は。

○福祉文教委員会 3月8日(火)

【議案第3号のうち所管部分】

- ・臨時福祉給付金の申請率、制度の周知および添付書類は。
- ・耐震化の終わっていない体育館等の数、耐震化工事の実施時期は。

・市民プール跡地の利用計画は。

【議案第17号のうち所管部分】

- ・福祉有償運送事業への個人の

参入は。

- ・生活支援コーディネーターの配置先は。

【議案第21号】

- ・求めるサービスが市内にない場合の他市施設の利用は。
- ・認知症の方だけを対象とした施設が必要ではないか。

【議案第22号】

- ・サービス形態ごとの施設数は。

○経済土木委員会 3月9日(水)

【議案第3号のうち所管部分】

- ・黒子・大宝沼地区圃場整備の面積、工期、進捗率は。
- ・社会資本整備総合交付金の減額理由は。
- ・浄化槽設置推進事業の減額理由は。

- ・住宅リフォーム助成事業の助成件数と助成額は。

【議案第7号】

- ・河間北部地区農業集落排水処理施設の完成時期は。

【議案第23号】

- ・消費生活相談員の資格は。



研修報告

【総務企画委員会】

研修日 2月2日～3日

視察地 愛知県豊川市
静岡県焼津市

テーマ

- ・企業誘致について
- ・公共施設再配置計画及び新庁舎建設等について



豊川市役所にて

豊川市では、分譲用地に特化した独自の企業立地支援制度を新たに創設し、企業用地取得費用の補助や建物の固定資産税相当額の交付などを行

い企業立地にかかる初期投資を支援することによって企業誘致の促進を図っている。また、豊川市、豊橋市、蒲郡市、新城市、田原市の5つの市で広域企業誘致も進めている。



焼津市役所にて

焼津市では、施設の老朽化問題、経営資源のマネジメント、施設別の修繕（予算要求）、施設の利用率の低下、新たなニーズの対応、厳しい財政状況など、公共施設を取り巻く課題を公共施設マネジメントの手法により、資産管理から資産経営に転換を図っている。

【経済土木委員会】

研修日 1月28日～29日

視察地 長野県小布施町

長野県上田市

テーマ

- ・協働と交流のまちづくりについて
- ・「上田道と川の駅おとぎの里」の運営について



小布施町役場にて

まちづくりとは、自分たちが誇れるまち、誇れるものを見つけることも大切であるが、自分たちが誇れても単なる自慢にしかない。基本的な考えは「外からの視点を入れ

る」また、「外から評価のあるようなものをしっかり見つけて、それを発信していくこと」が大事である。さらには、客観的な評価を必ず入れ「次の一手」を連続的に打っていく姿勢を、行政と民間がお互い同じ方向性に向かって作っていくことである。

道と川の駅は物品の販売だけでなく、「防災拠点」や「ドクターヘリ」「消防防災ヘリ」離発着場として活用していた。今回の研修で得た、「外からの目線」を意識したまちづくりを本市でも生かせるよう、取り組んでいきたい。



道と川の駅にて

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は

平成 28 年 6 月 8 日

に開会の予定です



日	月	火	水	木	金	土
			6/8	9	10	11
			開会	休会	一般質問	休会
12	13	14	15	16	17	18
休会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	議案質疑	休会
19	20	21	22	23	24	
休会	総務企画 委員会	福祉文教 委員会	経済土木 委員会	休会	閉会	

注) 日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

議会の放映は、市役所本庁舎 1 階エントランスホールと 4 階議場前ホールでご覧になれます。
ケーブルテレビ放映、インターネット配信もあわせてご覧ください。

議会日誌

1月

28日～29日

経済土木委員会視察研修

2月

2日～3日

総務企画委員会視察研修

4日 茨城県市議会議長会視察・知事懇談会

16日 地下鉄 8 号線建設促進・誘致要望

第 1 回全員協議会

19日 議会運営委員会

第 2 回全員協議会

24日～3月16日

第 1 回筑西市議会定例会

25日 筑西広域市町村圏事務組合議会定例会

東京直結鉄道延伸誘致要望

26日 議会運営委員会

3月

4日 第 3 回全員協議会

15日 議会運営委員会

16日 広報委員会

4月

7日 全国自治体病院経営都市議会協議会

正副会長・監事・相談役会議

8日 広報委員会

15日 茨城県西市議会議長会定例会

19日 茨城県市議会議長会定例会

26日～27日

関東市議会議長会定期総会

編集後記

3月下旬、桜のつばみが開花を待ち望むがごとく、園児服に身を包んだ子供たちが、小さいながら立派に保育証書を受け取りみずから保護者に対し「ありがとう」の言葉とともに証書を渡す姿を、お招きいただいた保育所にて目の当たりにし改めて次世代を担う子供たちにきちんとした形で筑西市をつないでいかねばと身の引き締まる思いでした。

今後、我が市は新中核病院、本庁舎移転、工業団地整備、道の駅建設と主要事業が計画される中で3月定例会では、最も重要な平成28年度予算を慎重審議し、全議案が可決されました。

今、筑西市議会では15名以上の議員が政策提言を含め一般質問いたします。時に激しい議論もありその臨場感、緊張感をいかに紙面にてお伝え

できるか、真剣に広報委員会では取り組んでおります。さらなる市民の皆さまのご意見をお待ちしております。

(田中 隆徳)

【広報委員会】

委員長 藤川 寧子
副委員長 藤澤 和成
委員 小倉 ひと美
三澤 隆一
田中 隆徳
真田 洋行
箱守 茂樹
鈴木 聡

筑西市議会事務局
筑西市下中山 7 3 2 番地 1
☎ 24 1 2 1 1 1 (内線 3 7 2)

ホームページ: <http://www.city.chikusei.lg.jp/>

